

先鋒
立論人

“伝える”
プロフェッショナル。自らの主張を分かりやすく簡潔に伝える。ここで強固な主張ができるかどうかで試合が大きく左右される。伝える技術で右に出るものなし。

次鋒
応答人

“理解”
プロフェッショナル。自分たちの主張を誰よりも理解し、どんな質問にも的確に端的に答えていく。冷静沈着に、だが着実に守りの陣を整える、まさに守護神。

中堅
質問人

“訊く”
プロフェッショナル。相手の立論の不明確な点を言及する。お互いの不理解を排除し、正々堂々とした勝負にする。敵を知り、己を知らば百選危うからず。分かりやすい議論は、彼の腕にかかっている。

副将
反論人

“思考”
プロフェッショナル。根拠は正しいか、論理は一貫しているかを、鋭い思考で相手の矛盾を一挙に叩く。データと論理力を武器に一気に攻め入る。正しい議論を生み出す豪傑。

大将
総括人

“交渉”
プロフェッショナル。互いの議論を、整理・比較し、どちらが優れているかを主張する。複雑に絡み合った論理を美しくまとめ上げ、時には起死回生すら起こす天才仕事人。



実は、
チーム戦。

全5役
5人で通す1つの主張

同志社大学経済学会主催

ディベート大会2009

経済学部 28チーム 150名の熱戦

観戦のご案内

開催日 2009年 10月24日(土) 10時~本選(決勝トーナメント)開始
14時~決勝戦開始

場所:今出川キャンパス 寧静館31番教室

申込:不要(入場無料) ※当日は直接会場にお越し下さい。

論題:「日本政府は小売店の深夜営業を禁止すべきである。是か非か」

出場者:経済学部 1~4年次生